



日本の伝統工芸ワークショップシリーズVI



寄席文字とは、落語などが演じられる劇場で使う文字です。
出演者の名前や演目などを書きます。
太い線で右上がり、黒々とみえるのが特徴で、
大入りになるよう願いの込められた書体です。
江戸時代から書き継がれてきた伝統的な「寄席文字」を
歴史の背景と共に体験してみましょう。

寄席文字 ワークショップ

日時

2024年 **11**月**17**日(日)

10:00~12:30

参加費

¥2,500

(墨汁・半紙材料費込み)

定員

20名

対象

小学生以上 (小学生は保護者同伴)

会場

創作室

講師

春亭 右乃香

申込

10/17(木)10:00より 電話にて先着順

主催・
お問い合わせ

横浜市泉区民文化センター
〒245-0023横浜市泉区和泉中央南五丁目4番13号
TEL:045-805-4000 (受付時間9:00~21:00)

テアトルフォンテ
(指定管理者:相鉄企業株式会社)

